

うえだ 環境市民会議 News

第60号
ニュース

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行：うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16
上田市生活環境課内

電話：0268-23-5120

FAX：0268-22-4127

E-mail seikan@city.ueda.nagano.jp

うえだ環境市民会議は、2003年4月に創立してから今年の4月に20周年を迎えました。この間の各プロジェクトチーム（PT）の取組は、レジ袋の削減や生ごみの堆肥化、2011年の3.11をきっかけとした自然エネルギーシフトや省エネ、SDGsや環境教育の普及など多岐に渡ります。具体的な取り組みを以下にご紹介したいと思います。

なお、うえだ環境市民会議と一緒に活動したい方や新たなPTを立ち上げたい方を随時募集していますので、事務局までご連絡ください。

ごみ減（530）20年のあゆみ

ごみ減PT 山口 春香

ごみの減量、CO₂の削減を目的として「生ごみの堆肥化」を推進し、市民・事業者・行政が協働して、レジ袋有料化に向けたマイバッグ持参運動に取り組んでいます。

【活動報告】

- 2003年4月 ごみ減量に関わる学習会を開始
- 2004年12月 食品トレーの削減、事業者、市民協働の中、市長立会のもと「食品トレー使用品目削減等に関する申し合せ書」に調印（食品102品目）
- 2008年7月 「EMぼかし」作り開始（先進地の指導による）
- 2008年10月 「長野県レジ袋削減県民スクラム」に参加
- 2009年6月 ごみ減プロジェクトチーム独自の「ぼかし」作りに取り組む

2009年9月 上田市レジ袋削減推進連絡会設立（12事業者、21団体）

マイバッグ持参率調査スタート

千曲川流域レジ袋削減推進協議会設立（14市町村）

2012年4月 「EMぼかし」1型、2型に取り組み、学習会を重ねながら現在に至る

2013年10月 長野県レジ袋削減をすすめる県民の会に参画（事務局は長野県環境課）

コロナ禍で「レジ袋、トレー」の調査は、休止中。

上記に関わる活動にご多忙の中、長年に亘り、ご協力いただいた会員の皆様には感謝申し上げます。



福島第一原発の汚染水問題

自然エネルギーシフトPT 竹内 秀夫

2011年10月の「うえだ環境フェア」では、さぞかし原発問題を取り扱った展示が多いことだろうと想像していましたが、ほかのブースは3.11後の原発大事故が無かったように、例年通りの展示を繰り返していました。

そんな中、自然エネルギーシフトPTは、①脱原発の世界の流れ、②原発事故の被害の巨大さ、③核のゴミ問題、④エネルギーシフトの実現性、⑤脱原発社会に向けて等のパネルを作成し、展示しました。

それ以来、世界や日本の原発の状況、福島第一原発の汚染水問題、その年に話題を集めた原発の問題点などを毎年「うえだ環境フェア」で展示してきました。とくに福島第一原発の汚染水問題では、地下水が原子炉建屋に流れ込み、それが汚染水となっていることや、当初1日400tだったものが、原子炉建屋に流れ込む前にたくさんの井戸で地下水を汲み上げ、現在では1日100t程度に減少したことなどを示してきました。

東京電力は、トリチウム以外の核種を取り除いた処理水を海洋放出しようとしています。トリチウムは半減期が12年と短いので、100年間程度保管すれば、濃度は1/200以下になります。そして、100年間保管するためには、1基で10万t貯留できる原油タンクに置き換えていけば可能です。海洋放出を急いで、放射性物質を拡散させ、次世代に負の遺産を引き継いではいけません。



福島原発事故に思う

自然エネルギーシフトPT 村山 顕

今から12年前、地震と大津波により東京電力の福島第一原発は壊滅的被害を受け、原発が爆発し、空中に放射性物質がまき散らされた。原発の放射能汚染により、近くの町村が住めなくなった。

昨年からは、人に害を与えないと言われる低放射線量の町村に人々が生活してもよいことになり、一部の住民が帰って来たが、町村の一部はまだ放射線量が高く、入居が認められていない。入居はまだ数十年先とも言われている。

今、壊れた原発は放射線量が強くて、調査用のロボットさえ壊れてしまい、十分な調査ができていない。したがって、原子炉全体の様子が把握しきれしていない。

汚染された地下水のみがどんどん増えて、今、この汚染水を海洋に放出することに住民や漁連の理解が得られていない。今後、原発事故処理がどうなり、人々の生活にどう関わっていくのか、注目していきたい。

今取り組んでいること

省エネPT 宇野 親治

地球温暖化で、省エネが叫ばれ始めた20年ほど前から、我が家の環境家計簿をつけ、電気・ガソリン・灯油・LPGなどの使用量と金額を毎月1年間の合計し比較して、省エネに努めています。また、うえだ環境フェアや消費生活展、各種団体への出前講座などで皆さんに省エネの必要性和、やり方をアドバイスしてきました。

ちなみに、我が家の二酸化炭素排出量は2022年5,774kg-CO₂で、2021年全国平均一世帯3,730kg-CO₂より多いです。主たる原因は、暖房用の灯油とガソリンです。長野

県の平均のようです。

最近ではゼロカーボン、カーボンニュートラル、脱炭素と2050年までに実質ゼロカーボンに向けてアドバルーンは上がりますが、一般市民には具体的に何をすればいいのかよく分かりません。

そこで私は、皆さんにゼロカーボンを分かりやすく、具体的に何ができるか説明をするセミナー開催に努力しています。顕著な例は、水道凍結防止ヒーターの活用です。旧型か新型か調べて交換を勧めています。「もったいない」を念頭に、皆さんでできることから実践しましょう。「ずく」を出しましょう。



脱炭素への思い

省エネPT / SDGs・PT 末広 繁和

私は、脱炭素を重要視しています。地球の温暖化問題に取り組み、持続可能な未来を実現したいと考えています。家庭では、光熱費の節約に関するアドバイスを提供し、少しの工夫でエネルギー使用量を減らせることを伝えています。

また、仕事でも楽しみながら省エネを実践し、SDGsを活用して問題解決に貢献する人々を支援しています。一人ひとりの声を重視し、積極的な行動で未来を変える力となることを信じています。脱炭素、光熱費の節約、楽しみながらの省エネ、SDGsの活用協力にだけにとどまらず、心から感謝しています。みなさんの協力により、より持続可能な未来を実現できると信じています。ありがとうございます

いました！

未来は、私たちの手にかかっています。一人ひとりの行動が大きな変化を生み出すのです。だから、脱炭素や光熱費の節約、楽しみながらの省エネ、SDGsの活用など、できることから始めてみてください。みなさんの協力に本当に感謝しています！ありがとうございます！

市民参加のゼロカーボン政策に対して思うこと

SDGs・PT 新田 詔三

市民がゼロカーボン政策に前向きに行動できず、環境活動家の行動に対して、「どうしてそんなに一生懸命になるの？」と疑問をもつのは、どうしてでしょうか？ その理由は簡単です。環境活動が、それぞれの市民に価値あるものであると理解されていない事と、環境活動家が環境活動の本質を理解していないからです。

ゼロカーボン政策をとる目的は、将来的に市民が適切な地球温暖化対策をすることにより異常な災害が無くなり、平和で安心な生活ができる事です。根本は、市民が幸せで生きがいある生活を環境活動から得られるからです。

ISO 14001での“環境”の定義では、「環境とは自分の身の周り（家族や子孫・私たちの地球・周囲の自然・利害関係者）であり、環境改善は自分の身の周りの改善である」ことを示しています。その改善が喜びであり、人間的な成長にもなります。

SDGsも「誰一人取り残さない」社会を目指し、経済・社会・環境の調和した世界を目指しています。

ゼロカーボン政策は、地球温暖化危機への対策ですが、しかし、その為に市民が勇気と知恵とおもいやりを持って行動できる社会的な基盤を築くことが、ゼロカーボン政策への最大の方向性であります。

うえだ環境市民会議に参加して

環境教育 PT 香遠 英俊

私が、うえだ環境市民会議に参加するようになって15年以上になります。当初は、企業として環境 ISO14001の活動として参加させていただいており、他の企業様や長野県環境保全協会の皆様と共に「うえだ環境フェア」などを通じて活動してまいりました。

最近では、学校の工場見学の案内や出前授業を行い、大変好評をいただいております。これからの地球環境を考えると、子ども達の為になる事を伝えていく事が重要だと考えています。そこで、これからは、このうえだ環境市民会議の中に「環境教育プロジェクトチーム」を立ち上げ、活動を行っていきたいと思っています。

具体的には、これまでの工場見学受入・出前授業など、環境活動を行う学校へ教材の提供などの支援を行ったり、児童・生徒さんの活動を発表する場を提供したりしていきたいと思っています。

微力ながら、環境教育インストラクターやこども環境管理士の資格を役立てて、新たな企画を考えて参りますので、多くの皆さんと共に活動を行う事を楽しみにしています。今後とも、よろしくお願ひします。



9月3日(日) 10:00 ~ 15:00に、上田城跡公園北観光駐車場隣の広場で、うえだ環境市民会議 20周年記念イベントとして「環境と平和のマルシェ」を開催致します。

内容は①エシカル・マルシェ、②うえだ環境市民会議プロジェクトチームの紹介、③自然エネルギーによる AMANA 平和コンサート、④丸子修学館高校による「古着のファッションショー」などです。たくさんの参加をお待ちしています。

なお、雨天の場合は上田城跡公園第2体育館で行います。ただし、エシカル・マルシェは中止します。

たくさんのご参加をお待ちしております！

